



## 台湾交流プロジェクト（英語）を行いました

笠間市は、台湾との交流を推進していて、市内小・中・義務教育学校では、台湾の学校とオンライン交流を行っています。本校でも昨年に引き続き、交流を行いました。6月5日（月）に3年1組と2組が、8日（木）に4組、9（金）に3組が英語の授業の時間を利用して、全て英語で交流を行いました。3～4名のグループに分かれて、先に台湾の中学校の紹介のプレゼンを聞いた後、笠間中学校の紹介を行い、その後フリートークの時間を設けました。教室で培った力を実践の場で生かし、一生懸命に伝えようとする生徒たちのすばらしい姿が見られました。



## 部活動がんばろう旬間がはじまりました

6月20日（火）、21日（水）に行われる笠間市中学校総合体育大会に向けて部活動が盛り上がりを見せています。先生方もがんばっている生徒たちを応援しようと、順番に各部活動を訪問して試合をし、最後にエールを送っています。

8日（木）は女子バレーボール部の日でした。先生方は、三好先生をリーダーに善戦しました。3年生最後の総合体育大会に向けて先生方と生徒たちの思いが一つになってきています。



## 笠中生にすすめたい一冊の本⑤

今回は、WBCで活躍した大谷翔平が日本でプレーしていた時代について書かれた「大谷翔平 野球翔年1」を紹介します。

メジャーでも「不可能」「非常識」と言われ続けた「二刀流」をあきらめず、2021年ア・リーグMVP、そして今年の3月に日本をWBCで優勝へ導きMVPに輝いた大谷翔平。野球の歴史を変えた「二刀流」の原点は、日本での5年間にあった。高校卒業からメジャー移籍まで、何を信じ、何を考え、何を指してプレーをしていたのか、大谷本人の言葉から浮かび上がらせる。

私は、大谷選手の活躍を毎日チェックしています。野球が好きだということもありますが、大谷選手の映像を見るとワクワクして元気が出るのです。きっと私と同じような人が日本ばかりでなく、世界中にいると思います。そんな大谷選手の魅力について教えてくれる一冊です。

※ このコーナーで紹介した本は、図書室に置いてあります。

